



ワイヤレス 魚群探知機

型番 FF718LIC(LA) [FF718LIC-LA]

2023年7月更新 K&Mサービス株式会社

ソフト・アプリが継続的に更新するため、説明書と一致しない場合があります、ご了承ください。

一、製品概要

魚群探知機は超音波を受発信する「振動子」を利用して、魚の群れや地形を画面に表示するアイテムです。魚群探知機と言えば、魚の群れを探したり、水中の様子を画面で確認できたり、元々船釣りやカヤック釣りをしている方が使用しているものです。当無線ポータブル魚群探知機は船釣りやカヤック釣りをしている方だけでなく、堤防釣りをしている方にも魚探を利用しもっと釣りを楽しめるための商品です。海や湖の釣りで、回遊魚を狙う際に欠かせないアイテムです。



セット内容



二、各部名称

各部名称



- スクリーン： TFTカラー2.8インチ
- MicroUSB ポート： 充電するポート
- インジケータ： 充電中赤点灯、満充電後消灯
- 受信アンテナ： 魚探使用中必ず立ててください
- MENUボタン： 長押しすると電源ON/OFF、メニューの切り替え
- ZOOMボタン： 上方探知範囲指定
- MODEボタン： モード選択（無線モード、シミュレーションモード）
- ◀ 左ボタン： 戻る、長押しで再ペアリングできる
- ▶ 右ボタン： 次へ
- ワーキングインジケータ： 水中動作中青点灯
- チャージランプ： 充電中赤点灯、満充電後消灯
- 二つの金属部分： 水中感知センサー、水を感じると動作する



三、使い方

使い方参考動画：<https://youtu.be/7wx9e3FoQ8E>

- 1, 本体（受信機）を充電します。約4H満充電約8H連続利用できます。
- 2, 正確測定できるように、アンテナを立ててご利用ください。



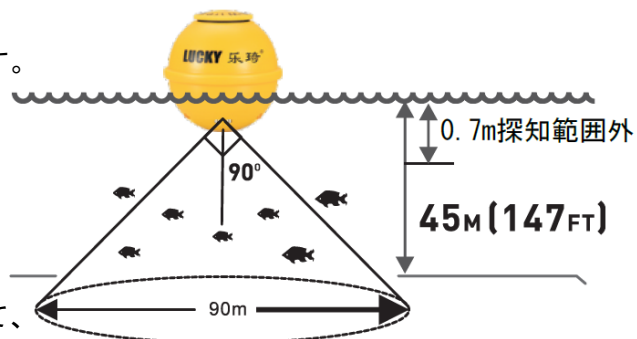
- 3, ソナーセンサー（発信機）を充電します。約3H満充電約10H連続利用できます。水中動作中青いランプが点灯、付属品のクリアキャップを使って、夜でもセンサーの位置がはっきり見えます。センサーの下には、3つ高光度集魚ランプが付きます。



- 4, 蓋をしっかり閉めて、水中に置くだけで自動に動作します。

水中から出ると自動に停止します。

ソナーセンサーの深度探査範囲0.7m~45m、90度

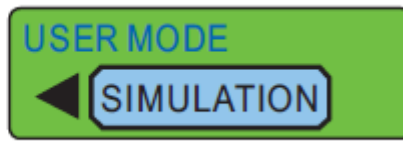
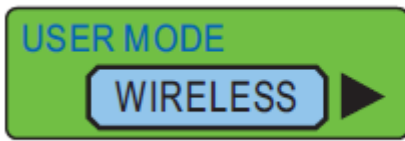


- 5, ペアリングのやり方

センサーを水に入れて、4回のビッ音まで◀左ボタンを長押しして、本体画面に1~16の数字（どちらでもOK）が止まったら成功です。

四、 本体（受信機）の操作方法

※設定完了後5秒ほど自動的に探知画面に戻ります。（確定ボタンなし）



Wireless（無線モード）：実際釣りする時 Simulation（シミュレーションモード）：テストする時



感度（浅：1～深：10）

下方探知範囲（AUTOをおすすめ）

上方探知範囲（OFFをおすすめ）

水底10m以内の場合1～2、大きい数値にすると誤報が発生

下方と上方は上級者向き、探知上下位置を指定



水深警報（設定値より低い場合警告）

魚表示



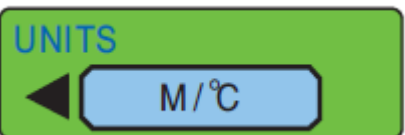
Large fish only

Large fish/Middle fish

Large fish/Middle/Small fish



魚発見警報（大・中・小表示）



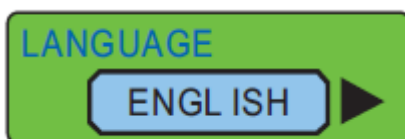
測定単位

画面色（水底色：青・赤・灰）

電池残量警報

M:メートル、Ft: フィート、°C: 摂氏度、°F: 華氏度

OFFの場合使い切るまで



言語設定（日・英・中・韓・・・）

バックライト（明るさ）

画面流れ速度（波が大きい時大きい数値）

五、 注意事項

正確に探知できるように、アンテナを立ててご利用ください。探査距離100m
探知深度は0.7m以上が必要です。水槽、池、バケツでテストする場合、正しく測定できない場合があります。
養殖場の漁網、養殖器具などの干渉があるので、正しく測定できない場合があります。
本体とセンサーの間、樹、船、大きい石、壁等の干渉物がないようにご利用ください。
センサーの移動スピードが速い場合、正しく受信できない場合があります。

- ・加工、取扱ミスの場合は、いかなる理由でも返品・交換はできかねます。
 - ・弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。
 - ・免責について
- ① 本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
 - ② お客様の誤使用や不注意による障害または本商品の破損など
 - ③ お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合
 - ④ 本商品の不具合を含む何らかの理由により、映像が表示できないことによる不便・損害・被害
 - ⑤ 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害

使用イメージ図 本体（受信機）

